

単位数	教科担当者	使用教科書・補助教材・その他
2	中井 潤一郎 市川 憂樹 松本 義人 元木 和泉 荒川 裕美 尾形 順一	CROWN Logic and Expression III (三省堂) Write to the Point (数研出版) Clues to Reading (数研出版) Breakthrough総合英語 (美誠社) Vintage 英文法・語法 (いっずな書店)
必修 ○学校必修 必修選択 自由選択		

◆学習の目標

1. 英文の構造を理解し、文法・語法に基づいて正確に英文を書くことができる。
2. 様々な話題について、論理的に自分の考えを英語で表現できる。
3. 和文英訳・自由英作を通して活用することで、文法事項を完全に自分のものとする。
4. 難関国立大の2次試験を突破できるレベルの確かな英語力を身に付ける。

◆主な学習内容・方法

- ・ Write to the Point :
和文英訳の演習を通して、文法事項や構文を復習しながら、英語での表現力を向上させる。
- ・ Vintage 英文法・語法および Breakthrough 総合英語 :
引き続き全ての学習で使用し、文法・語法を抜け・漏れを埋める。

◆到達目標と評価の方法

到達目標：

- 〔標準〕 様々な英語表現を場面や機能に応じて使い分けられる。
文法や語法に基づいて、伝えたい内容を英語で表現できる。
- 〔応用〕 パラグラフライティングを学び、まとまった英文を書く力を養う。
難関国立大学の二次試験に対応できる表現力を身に付ける。

〔観点別評価の評価規準〕

○知識・技能

- ・ 英語の論理表現の理解を深め、目的や場面、状況に応じて、実際のコミュニケーションで適切に活用できる。

○思考・判断・表現

- ・ 言語の使用場面に応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、話し手や書き手の意図を的確に理解したり、表現したりすることが出来る。

○主体的に学習に取り組む態度

- ・ 英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度が見られる。

〔評価の観点〕

上記〔標準〕の到達目標に基づき、「知識・理解」「表現・運用」「関心・意欲・態度」の観点から評価する。

◆年間予定授業時間

予定時数	70時間	1学期 (26時間)	2学期 (28時間)	3学期 (16時間)
------	------	------------	------------	------------

◆学習のしかた（予習・復習・宿題・課題・その他）

<p>・ Write to the Point</p> <p>【予習】 Breakthrough 総合英語や Vintage, これまでのノートなどを参照し、問題を解いてくる。</p> <p>【授業】 講義、グループワーク、ペアワークなど、様々な形態で理解を深める。</p> <p>【復習】 理解が不十分だった内容について、Breakthrough 総合英語、Vintage、ノートの該当箇所を読み直し、定着を図る。</p>
--

◆授業計画

学期	月	単元・教材等	単元 ごとの 時間数	学習の内容	学習到達目標
1 学期	4	Write to the Point Exercises B	26	標準的なレベルの和文英訳に取り組む。 (中堅国公立レベル) Exercises B 1 主語の決定(1) 2 主語の決定(2) 3 目的の表現 4 理由の表現 5 時制(1) 6 時制(2) 7 動詞の語法 8 関係詞 Clues to Reading 1～8	・毎回の授業に課題意識をもって臨むことができる。 ・「何となく」を脱却し、なぜそうなるのか、文法的根拠を説明できる。 ・表現活動に必要な基本的な知識を習得している。
	5	Clues to Reading 1～8			
	6				
	7				
2 学期	8	Write to the Point Exercises B	27	発展的なレベルの和文英訳に取り組む。 (上位国公立レベル) Exercises B 9 時間の表現 10 数字の表現 11 仮定・条件の基本 12 仮定・条件の応用 13 比較の基本 14 比較の応用 15 譲歩の表現 16 重要表現(1) 17 重要表現(2) 18 A は…だ Clues to Reading 9～15	・課題を明確にし、主体的に学習することができる。 ・「何となく」を脱却し、なぜそうなるのか、文法的根拠をもって論理的に説明できる。 ・表現活動に必要な基本的な知識を習得し、それらを活用できる。
	9	Clues to Reading 9～15			
	10				
	11				
	12				
3 学期	1	共通テスト 直前演習	16	実践演習に取り組む。	・受験に向けて実践力を養う。
	2	国立2次 直前演習			
	3				